

# 埼玉労山

埼玉県勤労者山岳連盟機関紙 発行:武笠真次  
 〒336-0011さいたま市浦和区高砂 4-1-5 ふじビル2階 編集:青木 正  
<http://www.justmystage.com/home/tozans/index.html>  
<http://www.justmystage.com/home/tozan/>

## 東日本女性交流集会(高尾)

### 第42期第2回県連評議会

#### 登山学校-雪山(最終科目)

第十一回 東日本女性交流  
 会IN東京・高尾『うれ  
 しい出会い 新たな感動  
 』  
 日時:二〇一〇年  
 一月二十三日〜二十四日  
 場所:高尾の森 わくわく  
 ビレッジ]東京都八王子市  
 主催:日本勤労者山岳連盟  
 主観:東京都勤労者山岳連  
 盟女性ネットワーク 協  
 力:東京都勤労者山岳連盟  
 初めて女性交流会に参  
 加させて頂きました。  
 高尾駅北口より、バスに  
 乗り会場到着後、早めの昼  
 食をとり十二時からの受付  
 を待ち会場に入りました。  
 十三時二十分〜十四時五十  
 分「高尾の自然を学ぶ」橋  
 本良仁氏の講演、高尾山に  
 トンネルが作られる、高尾  
 の自然が壊される等、子供  
 たちに伝えよう高尾山の自  
 然環境等、説明されました。  
 十五時〜十六時三十分「山  
 野井妙子さんを囲んで」  
 初めての山がタカトリ山  
 と話されていました。やは  
 りパネルを見ながらの、海  
 外登山の様子を見ることが  
 出来ました。あの静かな眼  
 差しで何を遠く見ているの  
 かしら、頭の中には山の事  
 が一杯なのかな?でも彼女  
 は活動の出来る源は、終わ

ったことは忘れる。次の楽  
 しい事を考える事だとも話  
 されてもいました。元気の  
 食べ物、スーパリーの安売  
 りと畑の野菜、食べたい物  
 を食べての生活だそうです。  
 夕食、乾杯後十九時から交  
 流会です。  
 交流会挨拶の後、東京ぐる  
 つぺわたすげ会の石田良恵  
 さんの身体特性及び体力測  
 定と目的のパネル説明が有  
 り、その中で『貯金より貯  
 筋』の言葉が心に残りまし  
 た。この後はお国自慢大会  
 で、青森、岩手、千葉が最  
 高。埼玉県は秩父音頭を踊  
 り、東京音頭には負けませ  
 ね:。全員で踊る事ができ  
 最高でした。その他の県も  
 色々工夫され見たものの勝  
 です。  
 二十四日朝食後、閉会式。  
 バスと電車で高尾山口駅へ。  
 高尾山口駅で、班毎に分か  
 れる。四コースは六班で山  
 野井妙子さんも一緒に歩い  
 てくれました。六号路出発  
 清滝駅〜びわ滝〜高尾駅で  
 高尾山自然保護委員会の吉  
 山さんから「駅前ブナ」の  
 説明を聞いた後に、名物の  
 天狗焼きで暖をとる。本ブ  
 ナとイヌブナ(根本の部分  
 がスツキリしてない)見分  
 けかたも聞く。浄心門を見

ながら四号路、吊り橋を渡  
 り、五号路の手前で美人ブ  
 ナを見る。流石!美人ブナ  
 は立派です。此処か山頂は  
 すぐでお昼ですが、人の多  
 い事はこりが舞い上がり、  
 やはり都心から近いせいか  
 混雑です(交流会の人も含  
 め、バスツアーの団体)。  
 山頂から富士山も見ること  
 が出来ました。  
 下りは稲荷山コースです。  
 稲荷山山頂では、新宿、池  
 袋、西武ドームも見ること  
 が出来ました。途中で高速  
 道路の異様な景色等見ると、  
 山が傷ついている事にも考  
 えさせられたハイキングで  
 した。下山後は、名物のと  
 ろろ蕎麦を食べお疲れ様で  
 帰路です。  
 解散十四時三十分  
 参加県:東京、神奈川、千  
 葉、茨城、栃木、埼玉、群  
 馬、宮城、長野、岩手、新  
 潟、福島、青森、全体参加  
 者百六十名 講演のみ参加  
 十三名 登山のみ参加六名  
 埼玉県参加者二十八名  
 (ハイジ2、笠歩歩2、ビス  
 ターリ3、所沢HC7、三  
 郷3、北本8、新座2、わ  
 らび1)  
 石井 君子(所沢HC)記  
 \*\*\*\*\*  
 二十三日はれつ、空、きれ

いっ。  
 約百六十名の参加とあって、  
 高尾駅に着くと、あちこち  
 山女性の集団。何も気にせ  
 ずバス乗車。一駅も行かな  
 いうちに宿泊先の「わくわ  
 くビレッジ」行ではないこ  
 とに気づきあわてて下車。  
 私たちにつられて乗ってし  
 まった他の会の人九人。  
 講演会「高尾の自然を学ぶ」  
 (橋本良仁氏) 高尾山はミ  
 シュラン三ツ星認定以来、  
 ますます訪れる人が多く、  
 年間三百万人を越えている  
 との事。植物、野鳥、昆虫  
 と自然の宝庫であるが、圏  
 央道と中央高速との接続ジ  
 ヤンクシオンが既に裏高尾  
 に建設され、更に高尾山の  
 中腹にトンネル工事が進行  
 中で、地下水脈の破壊によ  
 る山枯れが心配と熱弁をふ  
 るわれました。  
 講演会「山野井妙子さんを  
 囲んで」(山野井妙子さん)  
 山野井泰史著「凍」やNH  
 K「白夜の大岸壁に挑む」  
 クライマー山野井夫婦」の  
 映像から、皆それぞれにイ  
 メージを膨らませていたが、  
 スライドを見ながら説明す  
 る山野井さんは、スマート  
 でもの静か、数少ない言葉  
 にもユーモアがあり、気負  
 いもなく、誇示するでもな

く、その人柄にすっかり魅  
 了されてしまった。  
 クライミングが大好き、「終  
 ったことは忘れて、先の楽  
 しいことを考える」:の言  
 葉がとても印象的でした。  
 交流会うれしい出会い  
 新たな感動  
 各グループ紹介、遠方より  
 宮城、新潟、長野、福島、  
 青森、そして関東。埼玉は  
 二十八名。  
 ヒマラヤトレッキング報告  
 ストレッチ体操。酒、ワイ  
 ン、梅酒あり、秩父音頭、  
 等全員輪になって踊り、さ  
 らにお国自慢の歌や踊り、  
 山の歌をうたい、大変盛り  
 上がり、楽しいひと時でし  
 た。女性パワー全開、すご  
 おくい。  
 二十四日(日) はれつ。  
 4コースに分かれて交流山  
 行。四号路途中ではスーと  
 伸びた「美人ブナ」をみる。  
 思わず「きれえー」。男女  
 問わずビジンにはみんな弱  
 いなあ。  
 食後三十分は一番怪我の多  
 い時間と、下りの途中でリ  
 ーダーがストレッチの時間  
 をとり、心なしか足が軽く  
 なった。十四時半全員清滝  
 駅着。とても充実した二日  
 間でした。  
 白根恵子(北本山の会)記

二〇〇九年度  
第二回評議会報告

一月三十一日(日)北浦和・埼玉県労働会館に於いて十三時三十分より第二回埼玉県労働者山岳連盟評議会が行われました。

徳重副会長の開会宣言後、評議会成立確認。評議員三〇名に対して出席評議員十六名、委任状二通により成立。

評議会議長として八木原 健一氏(三郷山の会副会長)、小暮 昇(秩父アルペンクラブ)の二名。また、書記には二木 敬次朗(新座山の会副会長)が選

出され議事が始まりました。最初に、武笠県連理事長より第四十二期活動報告として各項目で方針と活動が発表されました。

1. 『事故防止に向けた取り組み』  
● 遭難防止・安全教育担当  
● 遭難防止の発展とともに更に強化

六月二十一日(日)AM  
与野本町コミセン・今年度第一回会議 では、全国遭難対策部部長より「非常事態宣言」が発令された背景と遭難事故全般について講演があった。また、遭難事故の要因に関して、所属す

る会における山行を事例として説明した。ポイントとしては①雨の予報(天候の異変)②出発時間の遅れ③装備(アイゼン)の不携帯状態での雪の斜面のトラバース：このようなケースでは山行は中止すべき!を紹介。・「事故を起こす体質」に関して県連救助隊長により詳細な説明を行なった。・「ヒヤリハット報告」について会員相互の安全意識の高揚のため、継続して提出行くことを確認。

第二回会議 十一月二十九日(日)AM埼玉県労働会館・理事十三名、委員十六団体二十八名、他参加二名(群馬・神奈川)大雪山系トムラウシ山・美瑛岳遭難事故について(県連事故と想定して考察)概要について理事長より説明後出席者を5班に分け自分たちが同コースを登山するとしてたならばパーティーとしてどのような準備と行動をするかについて検討し、各班発表。

十一月二十九日『安全登山講演会』では講師に井芹昌二氏(全国連盟遭難対策部部長)を招き

「登山の過去の事故から」「大雪山系遭難事故を

考える」「これからの安全登山をめざして」の三つのテーマでお話を頂き、労山の過去の事故事例と大雪山系遭難事故について共に考える場となり百十三名参加による大盛況でした。

● 山技術の向上・研究を進める  
登山技術交流集会は開催できなかった。初級登山学校や救助隊、女性委員会の救急法、岩ネットなどの企画を通じて実践的に技術交流がなされた。

● 安全登山の普及の観点から登山学校十四期の開催  
安全登山の普及の観点から綿密な事前打ち合わせ、下見、講座ごとにグループ編成し、その中で各役割を経験して学べるよう机上学習、実技を実施。

開校に向け、労山会員内外に積極的に呼びかけをして受講者募集を行った。安全登山の普及と意識向上・交流が図れた。

二月六日には閉校式の予定。毎回十八名余の受講生が熱心に学習されました。

2. 『労山ホームページデア構想・関東ブロック実証区の実現』  
ホームページは三月十

五日に試験的に立上げが決まり、四月からスタートした。TOPページ、県連機関紙、委員会リスト、ギャラリ(写真掲載コーナー)、リンク、加盟団体リスト(紹介)、この紹介に各会のHPもリンク付けのメニューを作成。

第一回評議会にて県連HPの紹介と運用方法の説明(HP実務担当者・小松氏にプロジェクトを使い、説明を戴いた)、担当理事は積極的にHPに掲載し、みんなでHPを活発化するように働きかけた。機関紙は133号から154号を掲載した。

加盟団体紹介二十八団体中残り十団体。全国連盟HPに登録。

3. 『積極的な「交流」をいろいろなところで実現し、お互いに会の連携を深める。』  
各ブロックで独自の企画を立案し、交流を深めることができた。

4. 『自然を守る活動』  
四月二十六日 旧足尾銅山の第十四回「春の植樹デー」県連二回目の参加、十四団体九十六名が参加  
五月三十一日 クリーンハイクの実施：今年の

コースは西部B：高麗付近、南部B：顔振峠・越上山、中部B：比企・笠山、北部：秩父・蓑山で実施された。当日は参加者は昨年並みであったが、雨にたたられ収集百二十七kgと少なく、独自な判断をした団体もあつたため、集合場所での集会は盛り上がりに欠けた。近年ゴミの量は減少しているが、昭和四十年代のバブル時代に廃棄されたと思われるゴミの収集をどうするか課題といえる。

九月十三日 東京都自然保護講座・講師浦添氏「足尾の鉱毒の歴史、そして今」二名参加。  
十月三十一日～十一月一日 関東B自然保護集会「ヒト、動物、自然の共生を求めて」一名参加。

5. 『多様な登山の発展に努める』  
● 海外登山  
(a) 労山五〇周年記念登山『女性のためのヒマラヤ学校』8月6日から17日(12日間)埼玉労山女性員会4名参加(所沢1名、新座1名、わらび1名)  
(b) 十月十八日から二十日韓国 仁寿峰(クラブワールドピクス)  
(c) 十一月二十七日から

十二月六日ネパールブルーヒルトレッキング(三郷山の会)四名  
海外登山では会の計画書の届出が戴いているが埼玉山海外委員会の企画としては出来なかった。

● 岩ネット  
五月二十四日和田山(雨で中止)、六月十四日古賀志山、七月二十日苦土沢・井戸沢、八月二十三日三ツ峠山、九月十二日～十三日(中止)、十一月一日広沢寺(丹沢)五名参加、十二月二十日幕岩、一月三十一日アイスクライミング(アルパインNPOにリーダー依頼)  
● ススキーネット  
二〇一〇年三月七日(日)、山城・那須連峰、三本槍岳東方・スタレ山、中の大倉尾根。ススキーを愛好する労山会員の親睦、ススキー技術全般の向上等を埼玉山機関紙、HPに掲載し参加を呼び掛けた。

● ハイキング交流集會  
加盟団体を構成する会員の高齢化は、県連活動においても緊急かつ深刻な課題でもあり、ハイキング委員会の役割すら全国連盟の各県連でもまちまちであり、  
3面へ続く

2面より続く

今回の全国ハイキング担当者会議や全国ハイキング交流集会で出された課題や教訓・ハイキング委員会の役割を再認識出来た。

全国ハイキング交流集会  
九月十二日(土)～十三日

(日)北八ヶ岳・唐沢鉱泉  
一名参加(ハイジAP)

●安全技術の向上

女性委員会の安全に対する企画の取り組み「応急処置」や「これなら出来る山での救急法」、登山学校での安全登山の普及の観点から綿密な事前打ち合わせ、下見、講座ごとにグループ編成し、その中で各役割を経験して学べるよう机上学習、実技を実施、救助隊訓練、岩ネットやスキーネットなど日々進化する各種技術を見つめ確認して自分自身のセルフ技術や組織レスキューなど個々の技術を高めた。

6. 『平和を守る活動』

登山団体の主目的は安全に楽しくケガのないように登ること。平和の活動は特に行っていない。平和なくして登山なし。

7. 『県連盟財政の改善のための埼玉労働山会員拡大など、みんなで力を尽くす』

登山学校や救助隊、各専門委員会など経費を切り詰めて活動をして戴いた。山の団体に加盟するひとが増えないと予算も増えない。組織を戦力的に増やす自助努力が今後の課題となる。

【専ら部活動報告】

◆事務局・昨年1団体脱退により会員数が減少したが、新入会員が増えた会もあり十月全国連への登録時には加盟団体数二十八団体、会員数五百七十一名でした。

昨年比八名減となったが、登山学校や各加盟団体のHPなどの充実が実を結んできたのではないかと思われる。

◆女性委員会・委員会

さいたま市生涯学習センター  
6/22・9/14・11/16・12/14  
1/13・2/23

・全国女性委員会主催「女性登山者の継続した体力管理のための体力測定」  
5/23 七名参加

・全国女性委員会主催「五十周年記念「インドヒマラヤ学校」ロリーコリー」  
6/23～7/4 一名参加、シス  
1谷 8/6～16 四名参加

・東日本女性登山交流集会  
高尾山 1/23～24 二十八名参加  
・「応急手当講習会」 埼玉

玉島労働会館 3/6予定

・全国女性委員会主催「スノーシュー」 福島県沼尻  
2/26～27参加予定

◆機関紙委員会・『埼玉労働山』 3月・144号～2月・155号 毎月第2月曜仕分け・発送(基本的に)。

・完全デジタル化し、県連所属各会へメール配信を実現させました。

・県連HPにもいち早く掲載をしてみました。

・編集十二回・印刷十二回・県連所属団体三十二、へ会員人数分発送

○九年度機関紙総ページ数四十二ページ(二〇一〇年1月末日現在)

総印刷部数三万二千二百部

・機関紙委員会担当印刷及び発送の書類等(県連盟員数分)

安全登山講演会(七百部)

保険業法の適用除外を求める請願署名用紙(七百部二面)東日本女性集会(高尾)

募集要項、申込用紙(七百部二面)海外登山集会(千葉)募集要項、申込用紙(七百部二面)

機関紙150号記念『みんなの歌』歌集(五十六曲収録)を作成し、十月に県連盟員、全員に配布。

◆自然保護委員会

(1)今年度クリーンハイクのコースは西部B・高麗付近、南部B・顔振峠・越上山、中部B・比企・笠山、北部B・秩父・蓑山で実施された。当日の参加者は昨年並みであったが、雨にたたられ収集量127kgと少なく、独自の判断をした団体もあつたため、集合場所での集会は盛り上がりに欠けた。

近年ゴミの量は減少しているが、S40年代のバブル時代に廃棄されたと思われるゴミの収集をどうするかが課題といえる。

(2)旧足尾銅山の「春の植樹デー」に参加。十四団体九十六名が好天に恵まれた足尾の山に植樹を行った。植樹場所への早期到着が課題。

(3)関東ブロック自然保護交流集会に参加。連盟八都県から二十七名が集まる。「ヒト・自然・動物の共生」について講演と討論及び実地検証を行う

◆ハイキング委員会・昨年度の熊倉山心拍数測定実験登山をきっかけに、今期は更なる発展と幅広い活動やハイキング層の会員拡大と相互交流を目的とし、その

為にも①ハイキング委員会

の確立と組織強化②加盟団体の組織内交流ハイキングの企画と実践③中高年登山者の安全登山と事故防止の為の活動に積極的に協力④その他 全国ハイキング交流集会等への参加；等の活動方針を掲げて活動してきました。

しかし、具体的に委員会活動やその他の活動においても低迷のうちに活動を終わてしまいました。

ハイキング委員会が主体的に県連全体を対象に取り組みが出来なかつた事は残念ですが、せめてもの救いは、各ブロック内において交流

会ハイキングやバスハイク、また技術交流山行が計画され実践された事です。

また、全国ハイキング担当者会議や全国ハイキング交流集会に参加し、全国的課題でもある加盟団体を構成する会員の高齢化は、県連活動においても緊急かつ深刻な課題でもあり、ハイキング委員会の役割すら全国連盟の各県連でもまちまちであり、今回の全国ハイキング担当者会議や全国ハイキング交流集会で出された課題や教訓・ハイキング委員会の役割を再認識出来

たと思います。

◆登山ゼミナール

◇雪山ゼミナール実施に向かい、万全な計画を立ててきたが、問い合わせ3名(男1、女2名)参加希望者の山行日程が合わず、理事会で中止決定。

◆ブロック協議会について活動報告は南部Bだけでした。他三ブロックは総会までに報告の予定。

次に規約改正として修正が提案され、

第4章 役員  
第十四条 この連盟に役員として、理事長一名、副理事長四名以内、事務局長一名、理事二十五名以内、監事は第一回理事会(総会内)において互選する。

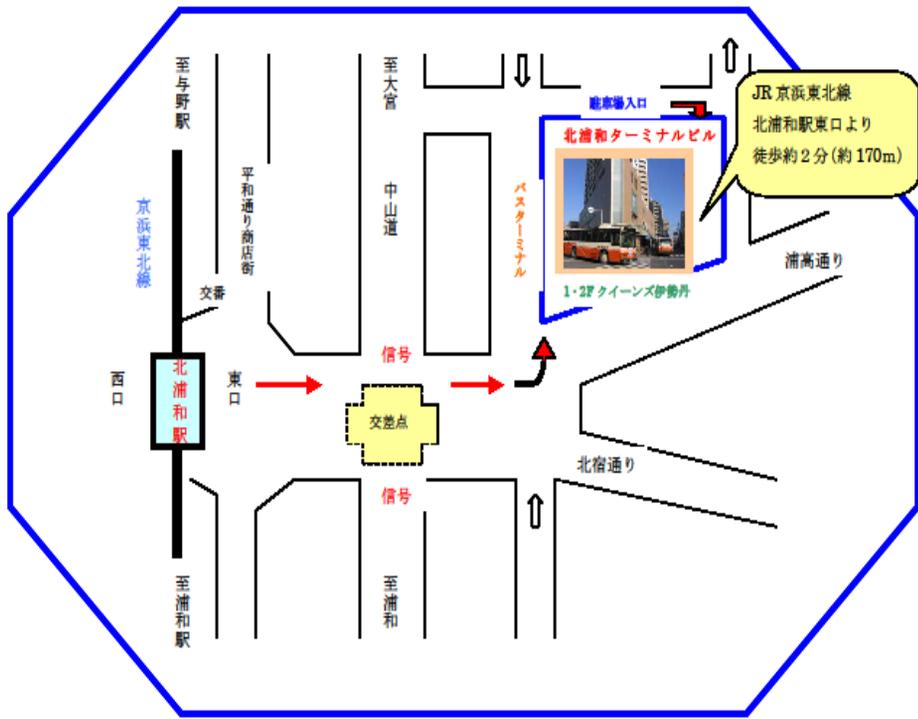
2. 前項に定める役員その他、理事長は理事会の議を経て顧問を委嘱することができる。

役員選出規定  
この規定は、埼玉県勤労者山岳連盟規約第十五条に基づき役員選出に関する基準を定める。

第二条 規約第十四条に定める役員定数は、総会直前の評議会が定める。なお、役員定数は、二十五名以内とする。

4面へ続く

北浦和ターミナルビル案内図



3面より続く  
**2.各ブロック協議会には、**  
**副理事長、理事一名以上を**  
**配置する事を原則とする。**  
 以上のように改正案が提出され、文言については、三役会議、理事会で再検討後、総会に提出し、承認を得ることを確認した。また、役員選出規定第二条に伴い、役員定数も確認され、了承されました。  
 今回の活動報告を基に第四十三期埼玉県連定期総会議案が集約されます。

- 最後に埼玉県連第四十三期定期総会に向けて代議員数確認とクリーンハイキング日程の変更が発表され行われ、了承、閉会となりました。二〇一〇年度クリーンハイキングは五月の全国連五〇周年記念行事ステイブ・ロング氏来日公演に伴い埼玉労山は6月6日(日)に統一して行う事に決まりました。内容等は、今後各ブロックで検討される予定です。
- 代議員数は下記の通りです。
- あすなる山岳会 1
  - 浦和くまざさ山岳会 2
  - 大宮勤労者山岳会 4
  - アングルクライム 1
  - 浦和山の会 1
  - 熊谷トレッキング同人 3
  - 上福岡山なみHC 2
  - 北本山の会 2
  - ハイキングクラブ上里 1
  - 深谷山の子俱樂部 1
  - 山遊会ビスターリ 2
  - 椽山岳会 1
  - 所沢ハイキングクラブ 4
  - 登攀クラブ岩つばめ 2
  - 秩父アルペンクラブ 2
  - 新座山の会 3
  - 飯能勤労者山岳会 2
  - 深谷こまくさ山の会 2
  - 富士見市峠山の会 2
  - ハイジアルペンクラブ 2
  - 日和田アルペンクラブ 1
  - ほたか山遊記会 1
  - 三郷山の会 3
  - わらび山の会 2
  - 荻歩富士見山の会 2
  - アルパインCNP埼玉 2
  - クラブワールドピークス 1
  - 日進山岳会 2

以上、五十四名です。  
 第四十三期埼玉県連定期総会は三月二十八日(日)北浦和東口ターミナルビル・カルタスホールで午前九時受付、九時三十分開会です。欠席の場合は委任状を忘れずに提出してください。

理事会報告

一月二十日(水)第十四回理事会を浦和サポートセンター(パルコ9階)に於いて十四名出席で行いました。  
**委員会等活動経過報告・計画予定**

【全国連盟活動】  
 2/20・21 第二十九回総会 晴海グランドホテル 武笠理事長、徳重副理事長出席、傍聴・佐藤副理事長他参加確認、加盟団体の会長他オブザーバ参加希望の確認(員数確認後全国連盟へ申請する)  
 【事務局】  
 1月7日 三役会議・第2回評議会・新役員体制について 次回三役会議 2/4

【財政】 2009年度(四十二期)会計報告：評議会、総会にて連盟費、カレンダー代全納  
 【組織】 評議会の役員選考委員会【ホームページ】理事長より全国連盟メディア局今野氏へ全国連盟HPに富士見市峠山の会紹介を送付(1/20頃掲載予定)ならびに4団体(脱退済会名)削除依頼、HP担当へ埼玉労山HPの全国連盟企画終了分削除と山スキーネットの情報掲載依頼。

【女性】  
 1/23~24 東日本女性集会(高尾)、女性委員会1/3(大宮)、2/26 第4回関東

B交流会「スノーシュー」猪苗代町沼尻(沼尻高原ロッジ)新宿西口19:00集合  
 3/6「応急手当」講習会：藤樹講師(岩つばめ)全国遭対部・5人インストラクター会場費は県連より支出とする：理事会承認

【自然保護】  
 4/25 足尾植樹デー(詳細はまだ不明：追って調べる)  
 【海外】：関紙 154号 1/28 海外登山集会報告  
 【救済隊】1/18 役員会・北浦和労働会館 2/15 県連理事&第6回役員会  
 【登山学校】1月講座「雪山歩き」1/16 机上：北浦和・労働会館(受講者17名うちスポット3名、運営委員12名)  
 1/17 実技：那須岳(受講者17名うちスポット3名、運営委員12名)  
 2/6 北浦和・労働会館 13:00 開場、閉校式 14:00~14:45  
 十五期登山学校の募集要項等チラシ作製を検討：来期の会場予約が難しくなっている

【岩ネット】1/31 アイスクライミング(霧積氷瀑)リーダーをアルパインクラブNPOさいたまに依頼済み  
 2/28 湯河原 幕岩  
 【山スキーネット】3/7 県連山スキー・那須連邦、三本槍岳東方・那須スタレ山

中の大倉根 申込・問合わせ：宮田幸男(熊谷トレッキング同人)  
**【登山ゼミナール研究】**  
 問い合わせ3名(女性1、男性2)：参加希望者の山行日程が合わず、中止。  
**【ブロック会議】**  
 西部1/14 新年会。2/21 西部B交流初級雪山登山(黒斑山-浅間山前衛)南部1/21 会議(2/13~14 磐梯スノーシューについて-20名参加予定)中部1/13~14 交流雪山登山検討  
 北部11本市児玉地区のハイキング新コースを視察(近く情報紹介したい)

議題

1、第2回評議会  
 1/31 3時受付(13時30分開会) 埼玉県労働会館・議題：県連活動報告総括、活動方針(案)の骨子作成。三役互選。  
 西部Bより副理事長1名を増やしたい。  
 他、事務局に1名。HP担当理事を設ける。機関紙担当は複数。意見として理事はできるだけ会山行や会合に出席し会に溶け込んで頂きたい。担当が複数の理事もいるので責務が大変。理事を増やしてほしい。  
 ・会員以外の遭難救助要請  
 ・専門委員会活動報告と方針 5面へ続く





5面より続く  
ピッケルは必要なものだと  
分かりました。  
準備すべきだったと思  
います。  
弱層テストとツェルト体  
験では、弱層テストがこん  
なに簡単にせん断層が分か  
るとは思いませんでした。  
雪崩が人為的に誘発され  
る割合が六〇%にも上ると  
すれば、雪崩を起こさない  
歩き方も必要だし、弱層テ  
ストも大切なことと認識で  
きました。それにしても  
スコップは、穴を掘るため  
に使うだけじゃないんです  
ね。  
雪山は危険であるとい  
う意味もあり、講師やコー  
チの方々がいつもより力が  
入っていたように感じられ  
ました。非常に内容の濃い  
訓練だったので十分に体で  
えられた感じがしました。  
最後に、講師やコーチや  
スタッフの方に大変よく指  
導して頂き、心から御礼申  
し上げます。今後もご指導  
の程、宜しく願います。  
蓮 通玄(東松山市)

**応急手当講習会**

主催 埼玉労山女性委員会

山でアクシデントが起きた時、どうしたらいいのでしょうか？

普段山に持っていくものを使い、適切な応急手当を学びましょう！そして、学んだことを会員に紹介してください。

日時：2010年3月6日(土) 9:15受付 9:30~16:45 参加費：800円 場所：埼玉県労働会館

講師：藤 柊 啓 志 氏 (登攀クラブ岩つばめ)全国遭対部・MFAインストラクター

講習内容：心肺蘇生法、三角巾の使い方、出血・捻挫・打撲・骨折の手当、総合的なシミュレーション

持 物：通常の山行で持参する物(食器・食料等は不要)、普段持っている救急用品セット

三角巾1枚(100cm×100cm正方形を斜め半分に切った大きさ)、レサコ(持っている方のみ)

服 装：汚れてもよい動きやすい服装

申 込 先：長谷川貞子(所沢ハイキングクラブ) E-Mail [hasegawa-tyk@tbb.t-com.ne.jp](mailto:hasegawa-tyk@tbb.t-com.ne.jp)

嶋田 好枝(新座山の会) FAX 048-479-6462

※申込締切 2月20日(土) 男性も積極的にご参加ください

**埼玉労山登山学校 第15期 生徒募集**

主催：埼玉県勤労者山岳連盟

埼玉労山では昨年に続き初級者登山学校を開校し、年間を通して登山の知識・技術を学べる場を設けます。安全に登山するためには学習が欠かせません。基本的な知識や技術を学びたい！そして次へのステップを考えている方、是非受講してみませんか。

説明会と開校式 5/22(土) PM 2:00 より

会場：カルタスホール 交通：JR京浜東北線 北浦和駅東口 徒歩2分(北浦和ターミナルビル内)

当日のスケジュール 14:00 開会 15:00 「登山学校」ガイダンス

16:00 入学受付 16:30 第1回講座「計画から下山まで」の案内 17:00 閉会



●お問合せ先 事務局 駒崎 TEL/FAX 048-431-1424 〒335-0001 蕨市北町4-8-6-122 (※できるだけ夜間に)

●年間講座 日程・場所

区 分	机 上	実 技	机上場所	実技場所
説明会・開校式	5/22(土)		カルタスホール	
①計画から下山まで	6/5(土)	6/6(日)	〃	未定
②登山と運動生理★	7/3(土)	7/4(日)	〃	未定
③山での救急法 ★	8/7(土)	8/8(日)	〃	未定
④地図の読み方 ★	9/4(土)	9/5(日)	〃	未定
⑤岩登り(初級)★	10/2(土)	10/3(日)	〃	未定
⑥天気の見方	11/6(土)	11/7(日)	〃	未定
⑦総合学習登山	12/4(土)~5(日)(実技のみ)			未定
⑧雪山歩き ★	11/1/15(土)	1/16(日)	カルタスホール	那須岳(栃木県)
閉校式	2/5(土)		〃	

※ 日時・場所が変更になる場合があります。 ※ 実技場所は一部未定です。

※ 机上講習開始時刻は13:30です。但し、★印講座は09:30開始です。

●受講料

1 年間講座 . . . . . 20,000円 2 単位科目(机上・実技を含む) . . . 3,000円

※ 実技の交通費、教材は自己負担となります。 ※ 単位科目は実技・机上をセットとします。

●受講資格

- 1 労山会員は遭対基金3口以上の加入者とする。
- 2 県連盟外の受講者は民間山岳保険に加入すること。
- 3 年齢性別は問いません。

●募集人員(定員になり次第募集停止します。) 定員 . . . . . 30名

※156号は原稿締切2/26(金)印刷・発送は3/8(月)です。よろしく願います。(アオ)